

長野大学新棟建設工事
総合評価審査委員会報告書

令和5年11月8日

長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会

目次

- 1 入札公告の概要
- 2 総合評価審査委員名簿
- 3 総合評価審査委員会の流れ
- 4 総合評価の方法
- 5 評価項目及び配点
 - (1) 技術提案評価項目及び配点
 - (2) 実績評価項目
 - (3) 審査方法
- 6 VE提案採否及び技術提案評価の審査
 - (1) VE提案採否の審査
 - (2) 技術提案評価と実績評価の審査
- 7 開札結果報告及落札候補者の決定
 - (1) 開札結果報告
 - (2) 落札候補者の決定
- 8 審査講評

1 入札公告の概要

長野大学では、新棟建設工事の事業手法について、令和8年度の理工系学部の開設に向けて、設計業務及び施工業務を一体的に実施し、より効果的な事業推進が行われることが期待できる「設計・施工一括発注方式」を採用した。また、新棟建設工事を受注者選定について、高度な技術を有し、品質と価格が総合的に優れた内容で実施することができる者を選定するため、一般競争入札（総合評価落札方式）による入札公告を行った。

入札公告の概要は以下のとおりである。

<p>工事目的</p>	<p>平成29年4月に上田市が設置者となり公立化した長野大学（以下「本学」という。）は、昭和41年の開学以来、校舎の建設を重ね、現在1号館から9号館までの建物9棟が高低差のある南傾斜地に分散配置されている。このうち、旧耐震基準に該当する昭和56年5月31日以前に建設した建物については、平成17年度に耐震改修を完了し、建物としての耐震安全性はいずれの施設も確保されているが、建築から50年を経過している1号館及び2号館については、躯体の劣化度合いが進行しており、建替えが必要な時期を迎えている。また、令和8年度を目標とした理工系新学部・新学科の開設に向けて、新しい長野大学としてのシンボルとなる建物の建設が必要となっている。</p> <p>本事業は、令和2年度に策定した「公立大学法人長野大学キャンパスマスタープラン」及び令和4年度に策定した公立大学法人長野大学新棟建設事業基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、令和8年度の開設を目指し新たに開設する新学部新学科の教育施設のみならず、全学生が使用できる新棟を新築し、既存校舎を改修する目的で進める事業である。</p>
<p>工事概要</p>	<p>(1) 解体工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1号館階段教室等の解体工事 <p>(2) 新築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造：提案による。 ・ 階数：提案による。 ・ 延べ面積：約6,900㎡（延べ面積の5%以内の増及び1%以内の減は、認める。） <p>(3) 改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1号館、2号館、3号館、4号館、5号館及び6号館の改修工事 <p>(4) 付帯する工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の整備工事 ・ 駐輪場一部・倉庫撤去工事 ・ 油槽撤去工事 ・ 外構工事（構内道路、舗装、緑地、植栽、埋設配管、配線（柵等を含む。）、雨水排水設備、屋外サイン、外灯等） ・ 新棟用の浄化槽設置工事 ・ 1号館・新棟間渡り廊下設置工事 ・ 新棟・5号館間ブリッジ設置工事、付帯する段差解消用エレベーター等設置工事 ・ 新棟建設に支障となる樹木の伐採・伐根

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新棟屋上に設置する太陽光発電設備工事（20kw） ・ 備品納入業者・引越し業者との調整業務 ・ 別途警備会社の設置する機器類の調整（空配管は、本工事とする。） ・ 別途備品の下地、吊り金具用下地、コンセント、空配管の調整業務・設置業務 ・ 監視カメラ設置工事
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 事前調査業務（本学が提示する地質調査を含む。）及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (2) 設計業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (3) 積算業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (4) 建設工事及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (5) 工事監理業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (6) 周辺家屋影響調査・対策業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (7) 電波障害調査・対策業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (8) 各種申請等業務及びこれらを実施する上で必要となる関連業務 (9) その他業務
工期	契約日の翌日から令和9年6月30日まで
予定価格	5, 247, 550, 000円（消費税及び地方消費税を含む。）
入札参加形態	<ol style="list-style-type: none"> (1) 建設企業（単独企業） (2) 特定建設工事共同企業体（特定JV） (3) 建設企業と設計企業のグループ (4) 特定建設工事共同企業体（特定JV）と設計企業のグループ (5) 建設企業と設計共同体(設計JV)のグループ (6) 特定建設工事共同企業体（特定JV）と設計共同体(設計JV)のグループのいずれか。
要件	<p>代表者：経審「建築一式」の総合評定値（P）が1400点以上、平成20年度以降に工事が完成・引渡し済んだ、延べ面積が3,000㎡以上の大学施設・研究施設（公共機関、大学、民間企業等の医薬系・理工系の研究施設に限る。）の建築一式工事（躯体、外装、内装を含む新築、改築、増築の部分）、延べ面積が3,000㎡以上の庁舎等の建築一式工事(躯体、外装、内装を含む新築、改築、増築の部分)を元請として施工した実績のある者であること ほか</p> <p>構成員：施工業務に従事する者が特定JVである場合、JV構成員は、上田市内に本店を有し、上田市における入札参加資格「建築一式」の等級が「A」であること ほか</p>

2 総合評価審査委員名簿

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
委 員 長	浦 江 真 人	東 洋 大 学 理 工 学 部 建 築 学 科 教 授
副 委 員 長	村 瀬 昌 康 (～R5.9.5 まで)	国 土 交 通 省 関 東 地 方 整 備 局 長 野 宮 繕 事 務 所 長
	今 井 義 明 (R5.9.6～)	
委 員	久 保 田 達 也	長 野 県 建 設 部 施 設 課 長
委 員	三 井 英 明	上 田 市 都 市 建 設 部 建 築 課 長
委 員	平 井 利 博	公 立 大 学 法 人 長 野 大 学 理 事 長
委 員	市 村 和 久	公 立 大 学 法 人 長 野 大 学 常 任 理 事

3 総合評価審査委員会の流れ

入札公告から技術提案等評価までの流れは、以下のとおりである。

日 時	項 目
令和5年4月	長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会設置要領の制定
令和5年6月7日	第1回審査委員会 ・委員長、副委員長選出・事業概要説明 発注スケジュール、要求水準書、落札者決定基準 等審議
令和5年6月21日	第2回審査委員会 ・発注スケジュール、要求水準書、落札者決定基準 等審議
令和5年6月28日	入札公告
令和5年9月6日	第3回審査委員会 ・VE提案採否、技術提案採点表 等審議
令和5年10月18日	第4回審査委員会 ・技術提案に対するヒアリング、技術提案及び実績評価点 等審議
令和5年11月8日	第5回審査委員会 ・開札、入札価格点、総合評価点、落札候補者 等審議

4 総合評価の方法

総合評価では、入札価格と技術提案及び実績の内容の二つの面から評価を行い、入札価格評価点配点が 100 点、技術提案及び実績評価点配点が 100 点の合計 200 点で評価した。

$$\text{総合評価点配点 (200 点)} = \text{入札価格評価点配点 (100 点)} + \text{技術提案及び実績評価点配点 (100 点)}$$

(1) 入札価格評価

入札価格評価点の算出方法は以下のとおりとした。(小数点以下第 2 位以下切捨て)

- ・ 入札金額 = VE 提案 (「採用」の通知のあったものに限る。) 採用後工事費
- ・ 入札価格率 (%) = (入札価格 (税抜) / 予定価格 (税抜)) × 100

◆入札価格率が 100%を超える場合

失格とし、評価しない。

◆入札価格率が 89.5%を超え 100%以下の場合

$$\begin{aligned} \text{価格評価点} &= (\text{価格点配点} - \text{基礎点}) \\ &\quad \times (1 - ((\text{入札価格率} - 89.5\%) / (10.5\%))) + \text{基礎点} \end{aligned}$$

- ・ 価格点配点 = 100 点
- ・ 基礎点 = 50 点

◆入札価格率が 89.5%以下の場合

$$\text{価格評価点} = 50 \text{ 点}$$

(2) 技術提案及び実績評価

技術提案及び実績評価点は、参加者からの技術提案の内容を、「5 評価項目及び配点」に基づき技術審査会 (委員 6 名) が審査し、各評価項目の平均点を算出した。なお、算出の際は、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位までを求めることとした。

表 採点の方法 (別表 1 の技術提案評価項目)

評価ランク	採点方法	採点基準の例
A	配点 × 1.0	優れた提案である
B	配点 × 0.7	やや優れた提案である
C	配点 × 0.4	標準的な提案である
D	配点 × 0.0	評価できる提案がない

5 評価項目及び配点

(1) 技術提案評価項目及び配点

技術提案評価項目及び配点は、以下のとおりとした。(落札者決定基準抜粋)

大分類	中分類	配点 (中分類)	小分類	配点 (小分類)	提案項目
(1)全体	業務全体の実施方法	25	①発注者等とのコミュニケーション方法	5	設計段階・施工段階において、大学とのコミュニケーション方法について、具体的に記述してください。
			②全体工程管理	10	・デザインビルド方式の特性を踏まえて、マイルストーンの設定や進捗管理方法などの工程管理方法を具体的に記述してください。 ・設計業務から施工業務への移行における、情報共有方法やリレーション方法を具体的に記述してください。 ・業務全体の工程表を、業務、工種別がわかるように記述してください。 ・全体工程表には、設計図書の完成時期、各設計業務の完了時期、工事の完了時期・工期を明示してください。 ・毎年度の予定出来高割合を明示してください。 ・工程を検討するにあたっては、基本計画における事業スケジュールに留意してください。
			③コスト管理	10	・設計段階におけるコスト管理手法を具体的に記述してください。 ・施工段階におけるコスト管理手法を具体的に記述してください。
小計			25		
(2)地域貢献	地域経済への貢献	15	①市内の建設業者への発注等による地域経済への貢献	6	市内の建設業者への発注や市内の資材調達の実施について具体的な金額(全体工事費に対する割合)を評価します。 ・全体工事費 [※] の25%以上:6点 ・全体工事費の20%以上25%未満:4点 ・全体工事費の15%以上20%未満:2点 ・全体工事費の15%未満及び具体的記述無し:0点 ※全体工事費は、解体工事費、新築工事費、改修工事費の合計とします。
			②市内の建設業者との連携による地域経済への貢献	3	・市内の建設業者とJV企業が組まれている:3点 ・市内の建設業者とJV企業が組まれていない:0点
			③市内の建設業者の技術力向上	3	・市内の建設業者の技術力向上のための提案を評価します。
			④市内その他の業種(建設業者以外の業種)の活用	3	・市内のその他の業種(建設業者以外の業種)の活用方法についての提案を評価します。
小計			15		
(3)設計業務	1)建築計画	12	①大学・地域・社会のシンボル性	3	・大学の歴史とこれからの目指す先に沿った、新しいシンボルとしての建築計画を評価します。
			②施設計画	3	・柔軟かつ合理的な施設計画を評価します。 ・災害時の安全性の高い施設計画を評価します。
			③居住性	3	・利用者同士の交流を促し、かつ快適な環境を得られる具体的な提案を評価します。
			④デザイン性	3	・地域・周辺環境との調和をなす計画を評価します。
	2)環境配慮計画・ライフサイクルコスト	6	①環境配慮	3	・環境に配慮した具体的な提案を評価します。
			②ライフサイクルコスト	3	・ライフサイクルコスト(建設コスト、維持管理コスト)に配慮した具体的な提案を評価します。
3)維持管理・運営	4	①維持管理	2	・メンテナンス性等に優れた材料・機器等の選定を評価します。 ・あらゆる利用者への安全を配慮した部材等の選定を評価します。	
		②セキュリティ	2	利用者にとって安心できる環境の計画を評価します。	
小計			22		
(4)施工業務	1)施工中の対策	9	①品質管理及び施工精度	5	・施工中の品質管理方策(品質管理体制、定期的な内部監査方法等)や、施工精度を確保するための方策等、品質管理に資する有効な方法を提案してください。
			②工事における安全対策	4	・新築・改修工事および既存建物解体工事にあたって、学生・職員・周辺地域住民それぞれに配慮した安全対策や騒音対策について具体的に記述してください。
	2)工期短縮・コスト縮減	6	①工期短縮に関する提案	3	・新築・改修工事および既存建物解体工事にあたって、工期短縮に資する提案を具体的に記述してください。
			②コスト縮減に関する	3	・新築・改修工事および既存建物解体工事にあたって、コスト縮減に資する提案を具体的に

			提案		記述してください。
	3)完成後のフォローアップ		①完成後のフォローアップ	3	・完成後の設備機器が供用後に所定の機能を果たすための調整作業等について、具体的な実施方法を記述してください。 ・特に、供用後の設備機能の確認方法、機器の調整が必要となった場合の対応方法や連絡体制、フォローアップ体制や期間などについて具体的に提案してください。
小計				18	
合計				80	

(2) 実績評価項目

実績評価項目及び配点は、以下のとおりとした。(落札者決定基準抜粋)

大分類	小分類	配点 (小分類)	提案項目	評価の視点
(1)設計・監理業務	1)設計業務の管理技術者の実績	4	・設計業務の管理技術者として配置する予定の人員の実績を記述してください。提案段階で複数の候補者がいる場合には候補者全員について1人1件まで作成してください。ただし、複数の候補者がいる場合は、最も評価の低い候補者の評価点を採用する。 ※実績を証明できる公共建築協会の公共建築設計情報システム(PUBDIS)の業務カルテ、又は契約書の写し、施設概要や図面等の資料、体制図等を添付すること。	以下の順番にて高く評価する。ただし、平成20年度以降に業務が完了したものに限る。 ①3,000㎡以上の大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。)の実施設業務において、管理技術者として従事した実績:4点 ②1,000㎡以上の改修設計業務において、管理技術者として従事した実績:3点 ③3,000㎡以上の官公庁の庁舎の実施設業務において、管理技術者として従事した実績:2点 ④大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。)、官公庁の庁舎、民間企業の事務所いずれかの実施設業務において、管理技術者として従事した実績:1点
	2)設計業務の主任技術者の実績	4	・設計業務の主任技術者として配置する予定の人員の実績を記述してください。提案段階で複数の候補者がいる場合には候補者全員について1人1件まで作成してください。ただし、複数の候補者がいる場合は、最も評価の低い候補者の評価点を採用する。 ・配置する主任技術者の種類は建築(総合)、構造、電気設備、機械設備とします。 ※実績を証明できる公共建築協会の公共建築設計情報システム(PUBDIS)の業務カルテ、若しくは契約書の写し、施設概要や図面等の資料、体制図等を添付すること。	以下の順番にて高く評価する。ただし、平成20年度以降に業務が完了したものに限る。また、各分野の主任技術者の平均を評価点とする。 ①3,000㎡以上の大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。)、の実施設業務において、主任技術者として従事した実績:4点 ②1,000㎡以上の改修設計業務において、主任技術者として従事した実績:3点 ③3,000㎡以上の官公庁の庁舎の実施設業務において、主任技術者として従事した実績:2点 ④大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。)、官公庁の庁舎、民間企業の事務所いずれかの実施設業務において、主任技術者として従事した実績:1点
(2)施工業務	1)監理技術者の実績	8	・監理技術者として配置する予定の人員の実績を記述してください。提案段階で複数の候補者がいる場合には候補者全員について1人1件まで作成してください。ただし、複数の候補者がいる場合は、最も評価の低い候補者の評価点を採用する。 ※実績を証明できるコリンズの登録内容確認書、若しくは契約書の写し、施設概要等の資料、体制図、監理技術者の資格証等を添付すること。	以下の順番にて高く評価する。ただし、平成20年度以降に業務が完了したものに限る。 ①3,000㎡以上の大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。))の新築・増築・改築に係る工事において、監理技術者として従事した実績:8点 ②3,000㎡以上の官公庁の庁舎の新築・増築・改築に係る工事において、監理技術者として従事した実績:6点 ③3,000㎡以上の民間企業の事務所の新築・増築・改築に係る工事において、監理技術者として従事した実績:4点 ④新築・増築・改築工事において、監理技術者として従事した実績:2点
	2)施工担当者の実績	4	・施工担当者として配置する予定の人員の実績を記述してください。提案段階で複数の候補者がいる場合には候補者全員について1人1件まで作成してください。ただし、複数の候補者がいる場合は、最も評価の低い候補者の評価点を採用する。 ・配置する施工担当者の種類は建築、電気設備、機械設備とします。 ※実績を証明できるコリンズの登録内容確認書、又は契約書の写し、施設概要等の資料、体制図、資格証等を添付すること。	以下の順番にて高く評価する。ただし、平成20年度以降に業務が完了したものに限る。また、各分野の施工担当者の平均を評価点とする。 ①3,000㎡以上の大学施設・研究施設(公共機関、大学、民間企業等の医薬系、理工系の研究施設に限る。))の新築・増築・改築に係る工事において、本工事にて担当する分野について主任技術者として従事した実績:4点 ②3,000㎡以上の官公庁の庁舎の新築・増築・改築に係る工事において、本工事にて担当する分野について主任技術者として従事した実績:3点 ③3,000㎡以上の民間企業の事務所の新築・増築・改築に係る工事において、本工事にて担当する分野について主任技術者として従事した実績:2点 ④新築・増築・改築工事において、本工事にて担当する分野について主任技術者として従事した実績:1点
合計		20		
技術提案及び 実績評価点合計		100		

(3) 審査方法

審査委員会では入札参加者の企業名、共同企業体名は伏せて事業者①～②として審査を行った。事業者の企業名は以下のとおりである。(各者の順は入札参加申込受付順)

事業者①：北野・宮下・エーシーエ共同企業体

事業者②：守谷・竹工・内藤・宮本グループ

6 VE提案採否及び技術提案評価の審査

(1) VE提案採否の審査

ア 令和5年9月6日、第3回長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会を開催し、VE提案採否について審議を行った。その採用数は以下の通りである。

	VE採択数
事業者①	2
事業者②	1

イ 令和5年9月11日、各者のVE提案に対する採否通知を行った。なお、提案内容とその採否の公表については、各者の同意が得られなかったため、令和5年11月9日(木)以降のホームページによる公開は行わないこととした。

(2) 技術提案評価と実績評価の審査

令和5年10月18日、第4回長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会を開催し、事業者へのヒアリングを実施したうえで、技術提案評価及び実績評価の審査を行った。審査結果は、以下のとおりである。

評価項目			配点	事業者①	事業者②	
① 技術提案評価点	(1)全体	業務全体の実施方法	①発注者等とのコミュニケーション方法	5	3.00	3.00
			②全体工程管理	10	6.50	6.00
			③コスト管理	10	6.50	6.50
	小計			25	16.00	15.50
	(2) 地域貢献	地域経済への貢献	①市内の建設業者への発注等による地域経済への貢献	6	6.00	6.00
			②市内の建設業者との連携による地域経済への貢献	3	3.00	3.00
			③市内の建設業者の技術力向上	3	2.25	1.80
			④市内その他の業種(建設業者以外の業種)の活用	3	1.80	1.95

		小計	15	13.05	12.75
(3) 設計業務	1) 建築計画	①大学・地域・社会のシンボル性	3	2.10	2.10
		②施設計画	3	2.25	2.40
		③居住性	3	2.25	2.40
		④デザイン性	3	2.25	1.95
	2) 環境配慮計画・ライフサイクルコスト	①環境配慮	3	2.25	2.10
		②ライフサイクルコスト	3	1.95	2.10
	3) 維持管理・運営	①維持管理	2	1.50	1.50
		②セキュリティ	2	1.30	1.20
			小計	22	15.85
(4) 施工業務	1) 施工中の対策	①品質管理及び施工精度	5	3.00	3.00
		②工事における安全対策	4	2.00	2.60
	2) 工期短縮・コスト削減	①工期短縮に関する提案	3	1.80	1.80
		②コスト削減に関する提案	3	1.80	1.95
	3) 完成後のフォローアップ	①完成後のフォローアップ	3	1.95	1.80
			小計	18	10.55
		合計	80	55.45	55.15
②実績評価点	(1) 設計・監理業務	1) 設計業務の管理技術者の実績	4	4.00	4.00
		2) 設計業務の主任技術者の実績	4	4.00	2.75
	(2) 施工業務	1) 監理技術者の実績	8	8.00	8.00
		2) 施工担当者の実績	4	4.00	0.33
			小計	20	20.00
		技術提案及び実績評価点 合計	100	75.45	70.23

※ 小数点第3位を四捨五入し小数点第2位までを求めた。

7 開札結果報告及び落札候補者の決定

(1) 開札結果報告

令和5年11月8日（水）の15時00分から開札が実施され、長野大学事務局から開札結果の報告があった。

ア 予定価格 5,247,550,000円（消費税及び地方税を含む。）

※事前公表済

イ 開札結果 入札の成立・不成立について公表

入札成立のため、参加企業名及び入札金額の公表

(2) 落札候補者の決定

(1)の開札結果を踏まえ、入札価格評価点の算出を行い、総合評価（入札価格評価点、技術提案及び実績評価点の合計）が最も高いグループを落札候補者とした。落札候補者、各事業者の総合評価点等は、以下の表のとおりである。

業者名		入札額 (税抜)	入札価格 評価点 (A)	技術提案 及び実績 評価点 (B)	総合 評価点 (A) + (B)	備考
事業者 ①	北野・宮下・エーシーエ 共同企業体	4,269,600,000円	99.9	75.45	175.35	落札候補者
事業者 ②	守谷・竹工・内藤・宮本 グループ	4,650,000,000円	62.0	70.23	132.23	

8 審査講評

長野大学新棟建設工事総合評価審査の講評

1 はじめに

本工事の入札では、令和5年6月28日に入札公告を行い、10月11日の期限までに2の企業体から、技術提案及び入札書の提出がありました。まず、非常に短期間のスケジュールの中、技術提案の作成に取り組みられた入札参加者の姿勢を高く評価するとともに、深く感謝申し上げます。

技術提案に先立ち、要求水準書等に対するVE提案を受けました。VE提案については、要求水準書等と比較して、機能を損なわずに効果的にコストを削減する提案を採用しました。

技術提案については、落札者決定基準に基づき、審査委員会において、厳正かつ透明性のある書類審査及びヒアリングによる技術審査を行いました。その結果である技術評価点及び実績評価点と、事務局が算出した入札価格評価点とを合算した総合評価点が、最も高いものとなった事業者①の「北野・宮下・エーシーエ共同企業体」を落札候補者として選定しました。

技術提案においては、落札候補者となった事業者①の提案は、総じてわかりやすく、ヒアリングにおいても明快かつ丁寧な説明・回答がなされていたことに加え、市内建設業の技術力向上、意欲的なデザインの提案について特に評価されました。

2 技術提案評価について

(1) 業務全体の実施方法

発注者等とのコミュニケーション方法については、両者とも窓口の一元化やBIM等を活用した計画の可視化が提案され、同等の評価となりました。

全体工程管理及びコスト管理については、両者とも適切な工程管理・コスト管理手法の提案がなされ、同程度の評価となりました。

なお、全体工程管理及びコスト管理については、昨今の建設業界を取り巻く、人材不足、資材や人件費の高騰、働き方改革の推進などの多岐にわたる課題を踏まえて、適切な工程管理と労務管理を実施しつつ、工期及びコストの遵守を優先すべきとの意見が出されました。

また、工事着手前の各種手続きについて、提出先との十分な事前協議と適正な審査期間の確保を求める意見も出されました。

(2) 地域経済への貢献

市内の建設業者への発注等及び市内建設業者との連携による地域経済への貢献については、両者とも満点の評価となりました。

市内建設業者の技術力向上については、事業者①は、地元の建設技術者に加え、将来の担い手確保を見据えた地元高校生向けの見学会が提案され、高い評価となりました。

市内その他の業種の活用方法については、両者とも多様な観点での地元経済・社会への貢献策が提案され、同程度の評価となりました。

(3) 設計業務

ア 建築計画

シンボル性、施設計画及び居住性については、両者とも地域性や歴史を踏まえたコンセプトを基に、学生の活動・交流を促す提案がなされましたが、事業者②は、敷地の高低差に順応した1階の計画や、交流空間の具体的な設えが提案され、やや高い評価となりました。なお、事業者①からは、避難安全検証法を活用したよりオープンな空間の提案がなされましたが、既存校舎や将来計画との関連性や、申請期間の確保に留意しつつ、大学とも十分に協議の上、採否を検討するべきとの意見が出されました。

デザイン性については、事業者①は、基本計画案にとらわれない、ランドマーク性や正面性を重視した意欲的なデザインが提案され、高い評価となりました。

イ 環境配慮計画・ライフサイクルコスト

両者とも自然エネルギーを積極的に活用した具体的できめ細かな提案がされ、合計で同程度の評価となりました。

ウ 維持管理・運営

両者ともユニバーサルデザインの具体的な提案やメンテナンス性の向上手法、地域に関きながら段階的なセキュリティが提案され、同程度の評価となりました。

(4) 施工業務

ア 施工中の対策

品質管理及び施工精度については、両者とも最新技術等を用いた品質管理と施工精度確保の提案がされ、同等の評価となりました。

施工中の安全対策については、両者とも工期毎の仮設計画の提案がなされましたが、事業者②は、現場事務所や駐車場、残土置場等に関する具体的な提案がされ、より高い評価となりました。

イ 工期短縮・コスト縮減

両者とも高評価を得る提案が少なく同程度の評価となりました。なお、事業者①からは、新棟竣工時期の1か月程度の前倒しの提案がありましたが、想定の申請期間内で計画通知等の手続きを完了させることの実現性に疑義が残り、プラス評価とはなりませんでした。

ウ 完成後のフォローアップ

両者とも窓口を一元化したフォローアップ体制が提案され、同程度の評価となりました。

3 実績評価について

(1) 設計・監理業務

管理技術者については、両者ともに十分な業務実績を有していることが確認できました。また、事業者①は、主任技術者についても申し分ない業務実績を有していることが確認できました。

(2) 施工業務

管理技術者については両者共に十分な業務実績を有していることが確認できました。また、事業者①は、施工担当者についても申し分ない業務実績を配置することが確認できました。

4 おわりに

本審査委員会としましては、長野大学新棟建設工事の設計・施工を行うにふさわしい事業者を選定するための、適切な評価を行うことができたことを報告いたします。

今後、落札者となる事業者に対しては、優れた提案を十分に活かして、発注者をはじめとした関係者との綿密な打合せを行い、確実かつ安全に業務を遂行するとともに、更なる技術の提供により一層の地域貢献に取り組んでいただくことを期待します。また、発注者である大学にも、事業者との緊密な連携とスムーズな意思決定を行える体制と、新棟を含むキャンパス全体の一体的な維持管理体制の構築により、円滑な新棟建設とそれを契機としたより魅力的なキャンパス運営に取り組んでいただくことを期待し、本審査委員会の講評といたします。

令和5年11月8日

長野大学新棟建設工事総合評価審査委員会
委員長 浦江 真人